

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年2月8日(2022.2.8)

【公開番号】特開2020-121071(P2020-121071A)

【公開日】令和2年8月13日(2020.8.13)

【年通号数】公開・登録公報2020-032

【出願番号】特願2019-16500(P2019-16500)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和4年1月29日(2022.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が流下する遊技領域と、

図柄を変動表示可能な表示部と、

該表示部に対する一方側の、前記遊技領域のうち当該表示部に対して右方または左方側において遊技球が流下する領域を介して離れた箇所に設けられた入賞手段であって、前記遊技領域における当該表示部の右方側または左方側を流下する遊技球が進入可能な進入口を含むとともに、当該進入口の入口部分に設けられて、当該進入口への遊技球の進入を許容する第1姿勢と、当該進入口への遊技球の進入を規制する第2姿勢とを切り替え可能な進入規制手段を含む入賞手段と、

前記進入口より下流側に設けられて、当該進入口に進入した遊技球を検出手段と、

通常遊技状態に比べて有利な特別遊技状態において、前記進入規制手段が前記第2姿勢から前記第1姿勢に切り替えられた後、前記検出手手段により予め決められた数の遊技球が検出された場合に、前記進入規制手段を前記第1姿勢から第2姿勢に切り替える姿勢制御手段と、

前記表示部よりも前記入賞手段に近い位置に設けられて、第1状態と第2状態とを切り替え可能な発光表示部であって、前記第1状態である場合に通常遊技状態に比べて有利な所定の遊技状態に移行し易い発光表示部と、

前記特別遊技状態が終了した後に前記所定の遊技状態が発生するか否かを判定する判定手段と、

該判定手段により前記特別遊技状態が終了した後に前記所定の遊技状態が発生すると判定された場合であって、かつ、前記特別遊技状態において、前記進入規制手段が前記第2姿勢から前記第1姿勢に切り替えられた後、前記検出手手段により前記予め決められた数を超える数の遊技球が検出された場合には、所定の確率で前記発光表示部を前記第2状態から前記第1状態に切り替える発光制御手段と、を備えていることを特徴とする遊技機。

30

40

50